

## 仙台空港における横田基地所属CV-22オスプレイの予防着陸について

このことについて、下記のとおり情報提供がありましたので、お知らせします。  
なお、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会における対応については、調整中です。

### 記

#### ○ 防衛省北関東防衛局からの情報提供内容

##### (1) 発生日時

令和3年9月22日（水）午後9時30分頃

##### (2) 発生場所

仙台空港

##### (3) 事案概要

横田基地所属のCV-22オスプレイが右側のエンジントラブルによりエマージェンシーを発出。午後9時30分頃、仙台空港に着陸。米兵約10名が搭乗している模様。

##### (4) その他

- ・ 東北防衛局当直は、午後9時25分頃に仙台空港飛行場運用グループより情報を受けた。霞目側に移動するとの話があるが、詳細は不明。
- ・ 着陸したオスプレイは、自走して岩沼訓練場（仙台空港に隣接する陸自の施設）に移動済み。
- ・ 現段階において、人的物的被害の報告なし。
- ・ 9月23日午前に、整備要員と機材を仙台空港へ派遣予定。

○ 在日米軍横田基地から防衛省北関東防衛局を通じたの情報提供内容

令和3年9月22日の夕刻、横田基地第21特殊作戦中隊に所属するCV-22オスプレイ1機が、仙台空港に予防着陸を行いました。

当該機は通常訓練の後、横田基地に帰投中に問題の可能性を感知したため、乗員が標準的な予防措置として仙台空港の管制官と調整し同空港に着陸し、陸上自衛隊の施設を利用しています。

現在、CV-22オスプレイの整備班により当該機を綿密に評価しており、警報が修理を必要とするものであったか否かを調査中です。

我々の航空機は、部隊の最優先事項である飛行運用の安全を保障するために、毎回の飛行前後に検査を行っております。